

令和4年度第2回名取市地域学校協働活動運営委員会 令和4年11月14日（月）

令和4年度 第2回名取市地域学校協働活動運営委員会概要記録

○日時	令和4年11月14日（月）午後2時より
○場所	市教委 第2会議室
○出席者（8名）	八森伸委員、齋藤勇介委員、橋浦ふさ江委員、佐々木健太郎委員、伊藤宗男委員、小沢静子委員、高橋千春委員、洞口のり子委員
○欠席者（1名）	半澤新一委員
○事務局出席者	教育委員会 教育長 瀧澤信雄 教育部長 菊池 博幸 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 " 生涯学習・青少年係長 菊地 栄一 " " 社会教育主事 小池 郁江
○傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開 会 進行：菊地係長

2 あいさつ 瀧澤教育長

新型コロナの第8波がにぎわせていますが、このような状況の中で地域学校協働活動本部の方は、一番若く始まった学校は1年が経過しています。地域に合った体制で進んでいるようです。今回の内容は、今までのヒアリングとは様相が変わっています。委員のみなさまの前向きなお話をよろしくお願いたします。

会議の成立確認

名取市地域学校運営委員会設置要綱第6条第2項により、委員過半数の出席を確認し、会議成立を宣言した。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。会議録を作成後、皆様に確認いただく。

非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

会議録は非開示情報を除き、一定の期間公開。姿勢情報コーナーにおいて、翌年度の4月1日から3年間。ホームページでは、掲載から1年。

3 協議

名取市地域学校協働活動運営委員会設置要綱第 6 条第 1 項により、伊藤委員長が議長となり進行する。

伊藤委員長

(1) ①各学校区の本年度の取組について、事務局より報告願いたい。

事務局（小池社教主事）

各学校区の本年度の取組について、年度初めに計画されていたものの経過報告、計画にないものの新たに取り組んでいるものについて口頭で紹介。

伊藤委員長

(1) ②市長との地域学校協働本部の中での懇談会について、事務局より願いたい。

事務局（小池社教主事）

内容を整理した事項を成果、課題、行政への要望に分けて説明した。

効果としては、①地域学校協働活動の認知が進み活動も広がってきたこと。②公民館との連携が進んでいること。課題としては、①子供が地域を知らないこと。②新興住宅と昔からの住民とのかかわりが難しいこと。③児童生徒が自分の避難所を知らないこと。行政への要望としては①業務委託の手続きが難しいこと。②市として活動の周知をさらに進めてほしいこと。③PCなどの備品を支給してほしいこと。④研修会を情報交換会のようなものにしてほしいこと。

伊藤委員長

事務局からの説明について、一人一人ご意見等いただきたい。

橋浦委員

全学校区がスタートして、まだ1年だが、各地区頑張られていて根付いているように感じる。伝統を守る形で地域と連携を図っていてうまく協力体制ができていると思う。公民館と地域と学校とボランティアをうまく連携を図ってくれて活動がスムーズにいつていることは、どの地区からも感じられた。

齋藤委員

このコロナ禍で、多くの協働本部が立ち上がってまだ数年だが、その前から地域の中で育んできた連携の取組が協働本部に位置づけされたことによって、より視点を深めて活動されている。課題のところにはPTAが入らないというのが出てきているが、名取市だけでなく県内のPTAでもそういった状況が進んできている。今の保護者の生活スタイルは大きく変わってきてい

て、家庭にいられる時間も大きく変化している。PTA に対して負担感や損得の視点が強くなっている。我が子にという視点が強くなっている。しかし、元々PTA というのは我が子を含め、地域の中で子どもたちをお互いさまの部分で見守っていく相互補助の考えで成り立っている。その考えが根付くよう意識を高めていくことが大切である。また、今のライフスタイルに合わせて取り組み自体を変化していく必要がある。PTA だけではなく地域全体で子供を育んでいこうという意識が根付いてくれればと思う。地域活動自体が負担だと思われることや、やらされているという意識が強いような気がするので、前向きに取り組んでいけるような環境を育んでいただきたい。

八森委員

地域学校協働活動は、公民館の力が大きいと感じる。教職員の負担も軽減された。私としては地域学校協働活動というのは、学校が地域に何かにしていただくだけではなく、学校からも子どもたちの力を地域に還元したいと考えている。しかしコロナのため地域の活動にボランティアに出すことが出来ない状態にあることが残念。

高橋委員

学校とコーディネーター、公民館、生涯学習課の方々が連携して進んできている。公民館だよりをみなさん見ていると聞いている。参加していない方々や保護者も公民館だよりを見ることによって活動が理解できる。公民館だよりをうまく使って広報するというのは大事。

洞口委員

今までは学校がしてもらえば良かったが、一中で雑巾をもらったから避難所で使える新聞のスリッパを作って地域に配ったという取り組みはよい。このような取組が増えていくと一方通行ではなく、両方からの繋がりができてくるのではないかと思う。PTA と関連して我が家の家族も子供会入会が選択になっており、入会するか迷った。しかし、地域と子どもたちが最初に繋がれば、何かあったときに子どもが地域の人を知っていると安心でき、親も地域とつながっていけると思う。

小沢委員

地域と学校、公民館との連携、活動の広がりができてきていると感じた。資料1の公民館だよりを通じて色々な人に関心を持ってもらうことが繋がっていく上で大切だと感じる。

佐々木委員

各地区での情報の整理とどのように情報を公開していくかを考えていくとよい。それぞれの地区で取り組みが積みあがってきている。これまでは漠然とした発信だったものが、今は具体的にってきているので、いつどういった形で活動が展開されているのかが年間を通してある

とよい。また、整理した形で提示していけると地域の方も参加しやすくなり、住民が繋がっていくと感じる。加えて、各年代の地域との関わり、その中で循環が見えると、各地域での取り組みを整理することにもなる。

伊藤委員長

講座をやったらそれで終わりではない。次のきっかけになるような終わり方をしなければ続いていかない。コーディネーターのみなさんをお願いすることは、公民館で今何をやっているかをわかってほしい。

齋藤委員

保育所と幼稚園との連携を考えるべきだと要望がある。公民館が地域の中でも連携の核になっているのは間違いない。地域の中で子どもの世代から高齢の世代までの循環を考えた時に、切れ目のない支援を考えると幼少期のころからの視点が大事になってくる。公民館機能が柱になり、さらに子育て支援の機能が加わると、子育ての分野により専門性を持って取り組んでいる。地域によって必要な機関を今のメンバーをベースに広げていく必要があると思う。各本部で見定めて色々な人を巻き込んでいけるといい。

伊藤委員長

コーディネーターの働きをみていると、十分にやってくれていて頭が下がる思い。そういった活動をご存じではないか。洞口委員さんあたり何かご存じないですか。

洞口委員

苦労しているというよりは、コーディネーターとしてお名前が上がっている方たちをみると、学校協働事業だけでなく、色々なことに参加して繋げるように努力している方々である。

瀧澤教育長

今、学校ではコロナが広がっている。そういった状況でも修学旅行や学習発表会など工夫して行ってきた。公民館活動も同じだとは思う。公民館まつりをみていくと、ほぼ全部の公民館の展示コーナーに地域学校協働活動の様子があつた。委員のみなさんの話題にもあつたように、学校が一方的に地域からしてもらった活動ではないということを学校に話してきた。学校と地域が一緒になって子供を育てるとか地域づくりに結び付くような活動もだんだん出てきていると感じる。みなさん強調されていた公民館の力が大きいということですが、従来、公民館館長は地域の方がやっていた。それが市職員に代わるということで、地域との連携が難しくなるといわれた。しかし、生涯学習課を中心に色々取り組んできた。今後も公民館がひとつのキーになると思うので、教育委員会でも意識していきたい。活動の中身では、第二中学校のキャリア教育、職業教育に地域学校協働活動が関わっているのは大変ありがたい。震災の後、

各学校で命の大切さを考える授業に取り組んでいる。それには地域学校協働活動が色々な形で関わってきている。これから各本部によって違いがあってもいいかと思うが、本当の意味で地域の宝である子どもを育ていったり、地域づくりに役立つような活動をしていったりできていけばいいのかなと思う。先ほどの佐々木委員さん、齋藤委員さんからのご提言は教育委員会でも考えていかなければならないと思う。貴重なご意見をいただき、教育委員会でも身を引き締めてやっていきたいと思う。

伊藤委員長

その他の説明をお願いします。

事務局（小池社教主事）

第2回地域学校協働活動研修会での様子・感想を紹介した。

伊藤委員長

そのほかの協議事項ございますか。ないようですので進行を事務局にお返しします。

菊地係長

ありがとうございました。議事の一切を終了いたします。以上で令和4年度第2回名取市地域協働活動運営委員会を終了させていただきます。

（議事一切を終了。）

4 閉会

以上